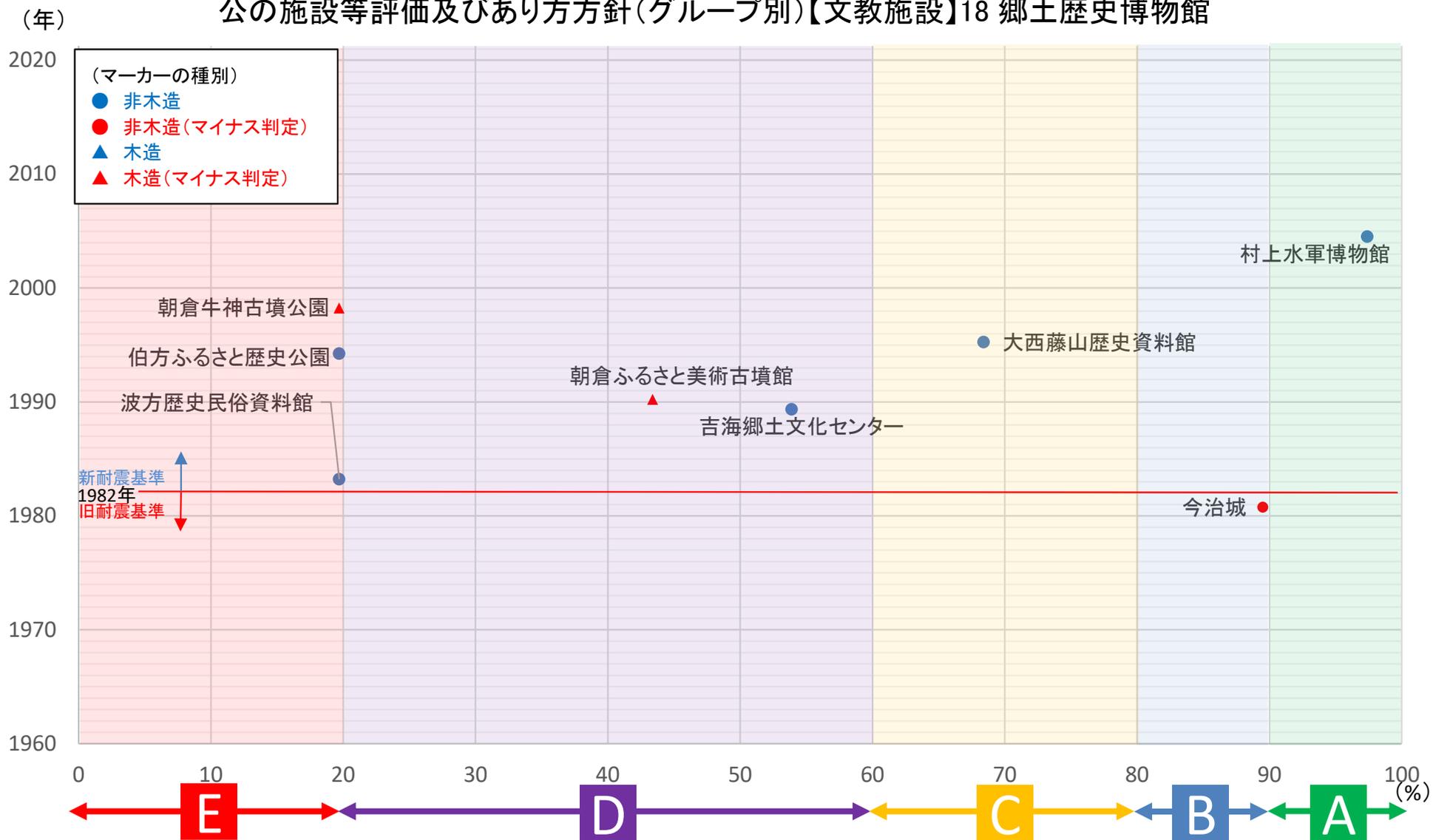


# 公の施設等評価及びあり方方針(グループ別)【文教施設】18 郷土歴史博物館



【18 郷土歴史博物館】

あり方方針	<p>『郷土歴史博物館』は、郷土の遺跡や遺物の研究と収集保存、展示、伝承を目的に設置された施設です。</p> <p>現在、各施設において、文化財の常設展示や企画展、講演会、学習会などを実施していますが、施設機能の重複やニーズの低下から利用は全体的に低調と言えます。</p> <p>選び抜かれた資料と専門能力を有する人材(学芸員)が、博物館が社会から期待される役割を全うするための「博物館力」の源であり、博物館を活発にするには、これを強化する必要があります。</p> <p>しかし、施設数に見合った専門職を養成・増員することは、現状からは厳しい状況です。また、人材不足と同時に合併で多数に及ぶこととなった博物館数にも課題があり、その数量見直しをすることと、限られた専門職の業務範囲を集中させることで、各収蔵品の保存・顕彰・展示・(普及)教育を充実させ、個々の博物館力を高める必要があると判断します。</p> <p>資料館系の現状からは、収蔵品管理、調査研究を文化振興課(学芸員)に集中させ、廃止施設をバックヤード(収蔵庫)として利用し、専門職(学芸員)の調査研究を進めます。</p> <p>そして積み重ねた研究成果をもって、集中的(巡回展等)に公開するなど、これまで来館者が少なく、見過ごされがちな郷土資料・文化史料の切り口を変えて、広く公開することで、郷土の足跡を後世の人に伝えるという先人(施設設置当時)の思いを、今治市全域に行き渡らせる活用が考えられます。</p> <p>本施設のグループにおいては、老朽化が進行している施設があるため、早急に老朽対策を含む文化施設の整備計画を策定します。</p> <p>「伯方ふるさと歴史公園」、「朝倉牛神古墳公園」及び「波方歴史民俗資料館」については、利用状況から公の施設等としては廃止を検討すべき施設として、総合評価結果は「E」評価となっています。</p> <p>なお、下記「外部評価」の意見を合わせて本施設グループの「あり方方針」とし、着実に取組を推進していきます。</p>
-------	---

外部評価	<p>●庁内評価のとおり (補記事項)</p> <p>「E」評価とされた施設については、今後、地域住民や利用者団体等の理解と協力が不可欠であり、市の考え方・方針を丁寧に説明し、合意を得るよう努められたい。</p> <p>同時に、施設本体や展示のあり方を見直すなどの工夫により、引き続きそれぞれの地域の歴史を後世に伝承していく手法を検討されたい。</p>
------	--